

ぽこそん教室

エクセル編 (Excel2019) Level.35 金種表を作ってみた

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		金種表											
3		商品	給料	10,000	5,000	1,000	500	100	50	10	5	1	
4		佐藤	103,800	10	0	3	1	3	0	0	0	0	
5		藤田	449,118	44	1	4	0	1	0	1	1	3	
6		中山	118,927	11	1	3	1	4	0	2	1	2	
7		鈴木	327,283	32	1	2	0	2	1	3	0	3	
8		田中	452,195	45	0	2	0	1	1	4	1	0	
9		山田	393,255	39	0	3	0	2	1	0	1	0	
10			枚数	181	3	17	2	13	3	10	4	8	
11													
12		合計	1,844,578	1,810,000	15,000	17,000	1,000	1,300	150	100	20	8	
13			1,844,578										
14													

「商品」じゃなく「従業員」です。すみません

$$103,800 \div 10,000 = 10.38$$

割り切れた数値の事を「商」
今回は ROUNDDOWN 関数を使い、小数点以下の端数をすべて捨てて「商」を出している

割り切れなかった端数の事を「剰余(余り)」

$$5 \div 2 = 2 \text{ あまり } 1$$

5,000円以下は余りを求めてから必要枚数を出している

余りを求める関数(モド・モッド)

=MOD(数値, 除数)

引数「除数」は割りたい値を入れる
「/」←割り算記号は使わない

Tips

- ・複合参照は、青色と赤色はあった場合、動画のように片方ずつ確実に作る。
- ・数式は1度で組み立てず、動画のように少しずつ発展させる感じで作る。

